

出向く、届ける資料館 一

■コンセプト

収蔵スペースを有効に活用するため、展示室内に積層ラックを設置し、須賀川市で所蔵する民俗資料を効率的に収蔵し「みて」「ふれて」「体験」しながら学べる展示施設として生まれ変わりました。地域文化の振興を図り、文化を生かした地域づくりに貢献する資料館を目指します。

これまででは、資料館に「足を運んでもらい」資料にふれていただく機会を提供してきましたが、資料館が今まで以上に身近な施設となるよう学校教育や地域活動のための「出向く、届ける」資料館へと転換（進化）し、利用実態に応じた効率的かつ持続可能な運営体制を構築することで、市民サービスの質の向上を図ります。

展示室

- 展示室中央に積層ラックを設置し、『民具にあらう収蔵庫』として約2,000点の民具をみせる
「収蔵展示」に施設に変わりました。
- 民具のハンズオンコーナーを増やし「ふれて、体験する」ことで、見るだけではわからない昔の人々の暮らしの知恵や工夫を楽しく学べます。
- 周辺の遺跡について学べるよう長沼、岩瀬地域の歴史に着目して常設展示しています。



民具を収蔵展示し、ふれながら学べます。



「背負う」「計る」などハンズオンで学べます。

資料貸出

学校や公民館、高齢者施設向けに民具キット（「むかしの道具」貸出キット）の貸し出しをしています。「昔のくらし」の学習や農業体験、回想法などにご利用ください。



生活道具や農機具など貸し出します。
また、資料を持込んだ出前講座なども対応します。



コミュニティセンターなどのサテライト展示を実施します

講座・イベント

関係団体などと連携しながら、地域の歴史の再発見や伝統文化の継承などを実施します。学校やコミュニティセンターなどの出前講座にも対応しますので、ご相談ください。



関連書籍などを配架しています

図書スペース

「しらべて、まなぶ 図書コーナー」を整備し、地域の歴史や民俗に関連した図書を配置しています。
小さなスペースですが、どなたでも自由に閲覧、学習できます。